


<人事院会見・内閣人事局交渉報告>

人事院及び内閣人事局に

全国各支部の問題点などを訴える！



No.379
2024 年 1 月 16 日

【発行】
国土交通省管理職ユニオン

【所在地】
東京都千代田区霞ヶ関2-1-2 中央合同庁舎2号館
TEL 03-3509-1138

【Email】
k-union@aloha.ocn.ne.jp

【ホームページ】
<http://www.k-unionnetwork/>

国土交通省管理職ユニオンは、十二月二十二日に人事院会見及び内閣人事局交渉を実施しました。会見・交渉の対応者は、人事院が益田給与第二課長補佐、内閣人事局は、渡辺参事官補佐などで、全国各支部の切実な問題点や現状を訴えました。

《人事院会見》

□ 田舎の挨拶

冒頭、近藤委員長から「●賞金は勤務条件の最たるもの。勤務実態に合い働く意欲の持てる賞金を。●級別定数改善について、未だに他省庁と開きがある。職務の評価替えと上位級の定数改善を。●国土地理院の評価替えを行い、級別定数改善を求める。」などについて訴え、その後各支部からそれぞれ抱える切実な問題点や現状を訴

えました。

□ 東北支部

人勧で、民間の退職時は約77%を保証。定年延長者も民間並みに改善を。「青年の山」の世代が退職し、新たに新採が山となつて入省するが、他省庁との格差は解消してほしい。

□ 北陸支部

北陸の当局は交渉での議題整理について、健康に関する熱中症対策の要求すら「管理運営事項」を主

張し議題からはずした。また、病休者の復職時に診断書を求めたり、在宅時の管特勤手当がほとんど支払われない問題等について、北陸当局の指導を求めた。

□ 関東支部

現場の管理職は多忙である。近年、大雨の頻度は増加。国交省は従来の治水対策に加え氾濫域を流域に加える「流域治水プロジェクト」で現場は従来に増して自治体との調整を行っている。

□ 中部支部

六〇歳以降の働き方において、「再任用者」と「定年延長者」との処遇差及び業務内容の明確化、また地域特性でもある新幹線通勤手当の改善を訴えた。

□ 近畿支部

地域手当の大きくり化について、どのようにする方向なのか。新規採用者は地方部に配属されること

が多く、地方部との格差を広げると地方自治体が有利になり、若者の離職に繋がる。

□ 中国支部

管理職員の超過勤務手当の支給拡大、新幹線通勤、単身赴任に係る手当額見直し、再任用の手当改善

□ 四国支部

社会人枠の採用では、単身赴任手当がでないなど、もっとスピード感をもった処遇改善が必要。

□ 九州支部

新幹線通勤の改定がしめされたが、従前の新幹線等の等が外された。特急や高速道路での通勤も多いので同様の改定を要求。

□ 地理支部

業務実績・職責、組織の重要性から国土地理院本院を「本省並み」、地方測量部等を「管区機関」として評価し、級別定数の改善を強く求める。(裏面に続く)

(表面よりつづく)
□人事院

『現地の生の声ありがとう。担当各所にしっかりと共有していきたい。給与等のアップデートを検討しており、担当課にしっかりと伝えていく。再任用の問題は把握しており、各省庁に周知していきたい。国土地理院からは例年要望をもらっているが、現状は不均衡とは思っていない。個々の当局と話し合っ
て欲しい。』

《内閣人事局交渉》

えて
きて
いる。

□田頭の意見交換

冒頭の意見交換では「高齢層の給与改善」「定年延長による役降り後の働き方が明確になっていない」などの改善を求めた。その後各支部から問題点などを訴えました。

□東北支部

定年延長が1年だけ、再任用フルタイムの希望者に定数確保を。職場に2級係長が増えてる。そのまま管理職まで他省庁との格差にするな。「この道はいつか来た道」はもういらぬ。

□北陸支部

連年の地整定員増については感謝。しかし、職場では職員が増えている実感がない。一人出張所や欠員が増

□関東支部

ほとんどの管理職が四六級だが昇格しても隣の級との賃金かぶり
が大きく、上がった実感が
ない。賃金レンジの改
善を要求する。

□中部支部

六〇歳以降の働き方
において、「再任用者」と
「定年延長者」との処遇
差及び業務内容の明確
化について追求し、職場
における混乱状況を訴
えた。

□近畿支部

定年延長後の業務内
容、具体的な運用やスケ
ジュールを教えて欲し
い。

□中国支部

防災業務時の体制で
はいまだに交代制など
の配置が整わず、ルール
も定められていない。一
人出張所体制も解消し
ていない。

□四国支部

多様な職種の職員が
働いているが、職種間で
の処遇に差が発生して
いる。専門職種の適切な
職責の評価を行うこと。

□九州支部

総人件費抑制の姿勢
を改めることで必要な
組織と人員の処遇改善
に繋がる定数を確保す

ること。
□地理支部
国土地理院
の定員削減は
止まらない、一
方、地方整備局
では増員とな
っている。部下
からも疲弊の
声があり増員
を求め

□内閣人事局

給与改定に
ついては「給与
関係閣僚会議
を開催し検討
していく」、再
任用の賃金に
ついては「人事
院における所
要の検討を踏
まえ適切に対
応していく」な
りしました。

《令和6年能登半島地震に被災された方にお見舞いを申し上げます。
また、応援・支援活動、TEC活動されている方に感謝申し上げます。》